

病院の実力「胃がん」
医療機関別2019年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	切除手術※ (件)	うち腹腔鏡手術 (件)	手術中の迅速病理診断 (件)	内視鏡的粘膜下層剝離術(ESD) (件)
千葉				
国立がん研究七東	237	201	41	316
県がんセ	114	93	2	264
国保旭中央	108	40	37	134
日本医大千葉北総	74	38	17	45
亀田総合	68	18	6	152
千葉大	68	31	45	149
国保君津中央	65	13	3	80
順天堂大浦安	62	60	31	76
成田赤十字	62	18	70	102
船橋市立医療セ	59	30	10	36
新東京	55	52	3	105
千葉西総合	49	46	19	88
千葉労災	45	9	9	54
東京歯科大市川総合	41	25	13	43
東京女子医大八千代医療セ	35	8	3	59
新松戸中央総合	33	8	0	45
松戸市立総合医療セ	31	26	17	47
千葉市立海浜	30	14	15	18
聖隷佐倉市民	30	7	16	13
東邦大佐倉	27	24	18	46
さんむ医療セ	18	13	3	4
おおたかの森	18	0	0	17
市立柏	7	5	0	42
国際医療福祉大市川	5	5	1	6
辻仲柏の葉	0	0	0	15
茨城				
県立中央	92	15	76	51
日立総合	73	40	3	53
土浦協同	73	26	45	87
国・水戸医療セ	68	12	2	41
筑波大	59	32	32	84
水戸赤十字	51	32	2	25
東京医大茨城医療セ	46	10	11	39
友愛記念	40	12	6	21
筑波記念	39	4	0	61
牛久愛和総合	11	1	0	3
埼玉				
埼玉医大国際医療セ	203	127	41	238
県立がんセ	138	98	129	110
埼玉医大総合医療セ	107	56	8	114
独協医大埼玉医療セ	87	69	43	112
川越胃腸	58	33	0	26
さいたま赤十字	53	38	11	151
自治医大さいたま医療セ	50	14	12	168
深谷赤十字	50	10	12	61
済生会川口総合	48	43	25	61
川口市立医療セ	48	30	30	62
草加市立	43	24	11	62
TMGあさか医療セ	41	31	1	28
上尾中央総合	41	30	37	59
戸田中央総合	40	20	0	33
春日部市立医療セ	33	7	16	5
さいたま市民医療セ	30	16	0	30
越谷市立	25	0	10	15
東大宮メディカルセ	22	15	10	10
埼玉協同	21	5	19	46
新座志木中央総合	19	10	0	14
県立循環器・呼吸器病セ	4	0	0	0
防衛医大	—	—	—	68
埼玉医大	—	—	—	49

※全摘、幽門側、幽門保存、噴門側の胃切除手術。
「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明。
#一部未回答

病院の実力

149

胃がん

ごく早期内視鏡治療も

今回は胃がんを取り上げる。がんの中では大腸がんに次ぎ、2番目に患者が多

い。一覽表には、2019年に行われた腹腔鏡手術や内視鏡的粘膜下層剝離術(ESD)などの治療件数を掲載した。

胃がんの治療は、手術、ESDなどの内視鏡治療、薬物療法が柱。がんの進行度、できた場所、転移の有無などを考慮して決める。

かつては胃を全部切除する全摘手術が多かったが、食事制限に伴う体重減少など、術後に大きな影響が出るため、近年は胃をできる

限り残す手術を行うことが多^い。手術の方法としては、おなかに小さな穴を数か所開け、小型カメラと切除器具

を入れて行う腹腔鏡手術が増えている。おなかを切開する開腹手術より傷口が小さくて済むが、医師には高度な技術が求められる。近年は、手術支援ロボットを用いて腹腔鏡手術を行うケースも出てきている。

リンパ節などの切除範囲を決めるために、手術中に採取した組織を病理医が素

を入れて行う腹腔鏡手術が増えている。おなかを切開する開腹手術より傷口が小さくて済むが、医師には高度な技術が求められる。近年は、手術支援ロボットを用いて腹腔鏡手術を行うケースも出てきている。

がんが胃の内側の粘膜層内にとどまっているごく早期の段階では、口から小型カメラを入れて行うESDなどの内視鏡治療も選択肢

早く検査し、がんの広がりを確認する「迅速病理診断」を行う病院も多い。再手術のリスクを下げる狙いがある。